

言語研究法 ('19)

第14回 類型論 (世界の言語) 14-1

1

言語研究法 ('19) 第14回 類型論 (世界の言語)

世界の言語を整理する

(<第3講> & <第25講 部分>)

2

今回のポイント

- 世界の言語
 - 語族、語派
- 言語の系統関係
 - 同系、祖語
 - 比較言語学と印欧語族
- 言語の類型
 - 孤立語、膠着語、屈折語
- 語順の類型論
 - 基本語順、修飾関係、etc.

3

世界の言語

- いくつある？
 - 5000? 6000? (指定教材 p.10)
 - 7097 (Ethnologue, 21版, 2018)
- 種類を数えることの原理的な困難
 - 国が違えば別の言語と意識されやすい
 - (例：ヒンディー語とウルドゥー語)
 - 方言？ 別言語？
 - (例：琉球方言？ 琉球語？)

4

話者の多い言語は？

母語話者の多い言語20 [単位100万人] (Ethnologue, 21版, 2018年)

1 中国語	1,299	11 ジャワ語	84.4
2 スペイン語	442	12 トルコ語	78.5
3 英語	378	13 韓国・朝鮮語	77.2
4 アラビア語	315	14 フランス語	76.8
5 ヒンディー語	260	15 ドイツ語	76.0
6 ベンガル語	243	16 テルグ語	74.8
7 ポルトガル語	223	17 マラーティー語	71.8
8 ロシア語	154	18 ウルドゥー語	69.2
9 日本語	128	19 ベトナム語	68.0
10 ラフンダー語	119	20 タミル語	66.7

言語研究法 ('19)

第14回 類型論（世界の言語） 14-1

5

話者の多い言語は？

母語話者の多い言語20 [単位100万人]		(Ethnologue, 21版, 2018年)		
1	中国語	1,299	11 ジャワ語	84.4
2	スペイン語	442	12 トルコ語	78.5
3	英語	378	13 韓国・朝鮮語	77.2
4	アラビア語	315	14 フランス語	76.8
5	ヒンディー語	260	15 ドイツ語	76.0
6	ベンガル語	243	16 テルグ語	74.8
7	ポルトガル語	223	17 マラーティー語	71.8
8	ロシア語	154	18 ウルドゥー語	69.2
9	日本語	128	19 ベトナム語	68.0
10	ラフンダー語	119	20 タミル語	66.7

6

話者の多い言語は？

母語話者の多い言語20 [単位100万人]		(Ethnologue, 21版, 2018年)		
1	中国語	1,299	11 ジャワ語	84.4
2	スペイン語	442	12 トルコ語	78.5
3	英語	378	13 韓国・朝鮮語	77.2
4	アラビア語	315	14 フランス語	76.8
5	ヒンディー語	260	15 ドイツ語	76.0
6	ベンガル語	243	16 テルグ語	74.8
7	ポルトガル語	223	17 マラーティー語	71.8
8	ロシア語	154	18 ウルドゥー語	69.2
9	日本語	128	19 ベトナム語	68.0
10	ラフンダー語	119	20 タミル語	66.7

7

話者の多い言語は？

母語話者の多い言語20 [単位100万人]		(Ethnologue, 21版, 2018年)		
1	中国語	1,299	11 ジャワ語	84.4
2	スペイン語	442	12 トルコ語	78.5
3	英語	378	13 韓国・朝鮮語	77.2
4	アラビア語	315	14 フランス語	76.8
5	ヒンディー語	260	15 ドイツ語	76.0
6	ベンガル語	243	16 テルグ語	74.8
7	ポルトガル語	223	17 マラーティー語	71.8
8	ロシア語	154	18 ウルドゥー語	69.2
9	日本語	128	19 ベトナム語	68.0
10	ラフンダー語	119	20 タミル語	66.7

8

話者の多い言語は？

母語話者の多い言語20 [単位100万人]		(Ethnologue, 21版, 2018年)		
1	中国語	1,299	11 ジャワ語	84.4
2	スペイン語	442	12 トルコ語	78.5
3	英語	378	13 韓国・朝鮮語	77.2
4	アラビア語	315	14 フランス語	76.8
5	ヒンディー語	260	15 ドイツ語	76.0
6	ベンガル語	243	16 テルグ語	74.8
7	ポルトガル語	223	17 マラーティー語	71.8
8	ロシア語	154	18 ウルドゥー語	69.2
9	日本語	128	19 ベトナム語	68.0
10	ラフンダー語	119	20 タミル語	66.7

言語研究法 ('19)

第14回 類型論（世界の言語） 14-1

9

話されている国の多い言語は？

英語	118カ国	アラビア語	58カ国
フランス語	53カ国	中国語	38カ国
スペイン語	31カ国	ペルシャ語	29カ国
ドイツ語	28カ国	マレー語	18カ国
ロシア語	18カ国		
ポルトガル語	15カ国		
イタリア語	14カ国		

(Ethnologue より)

言語研究法 ('19)

第14回 類型論 (世界の言語) 14-2

10

言語の“親戚関係”

■言語の系統関係

- 同系(言語)：共通の祖先から分かれた言語
祖先となる言語が「祖語」
- 語族：同系であることが証明されている言語
下位区分として、語派、語群
最も有名なのが「インド・ヨーロッパ語族」
「印欧語族」とも

11

インド・ヨーロッパ語族の言語

■インド・ヨーロッパ語族

インド・イラン語派ー ヒンディー語；ペルシャ語
スラブ語派ー ポーランド語，チェコ語；ロシア語
ギリシャ語派ー ギリシャ語
イタリック語派ー フランス語，イタリア語，スペイン語
ケルト語派ー アイルランド語
ゲルマン語派ー スウェーデン語；英語，ドイツ語
etc.

12

系統関係をどうやって証明？

■比較言語学の方法：音対応を発見

英語(ゲルマン語派)	ラテン語(イタリック語派)
father	pater
three	tres
hundred	centum cの発音は[k]
two	duo
kin	genus
brother	frater
guest	hostis

13

「グリムの法則」

■ゲルマン語に生じた子音変化

ゲルマン祖語	印欧祖語
① f th h	← p t k
② p t k	← b d g
③ b d g	← b ^h d ^h g ^h

(理論的に再建された音には * を付ける慣習だが省略)

言語研究法 ('19)

第14回 類型論（世界の言語） 14-2

14

「グリムの法則」

■ゲルマン語に生じた子音変化

ゲルマン祖語 印欧祖語

- ① f th h ← p t k
 ② p t k ← b d g
 ③ b d g ← b^h d^h g^h

(理論的に再建された音には * を付ける慣習だが省略)

15

系統関係をどうやって証明？

■比較言語学の方法：音対応を発見

英語(ゲルマン語派) ラテン語(イタリック語派)

father pater
 three tres
 hundred centum cの発音は[k]
 two duo
 kin genus
 brother frater ←印欧祖語の気音だけ
 guest hostis 残ったような具合

16

音対応

■「音法則に例外なし」

Aという言語のある音xが、条件が同じなら基本的にすべて、Bという言語でyになっているとすると、AとBの音の違いは、無関係に異なっているのではなくて規則的に対応していることになり、そのことは同系言語の一方にだけ生じた変化として、言語AとBが同系であることの決定的な証拠になる、ということ

- 比較言語学：同系言語の歴史的な変化を解明する言語学
 系統関係にない言語を比べるのは「対照言語学」

17

言語と語族

Q. 何語族の言語？

- ・フィンランド語 — ウラル語族
 ・アラビア語 — アフロ・アジア語族
 ・スワヒリ語 — ニジェール・コンゴ語族
 ・タガログ語 — オーストロネシア語族
 ・中国語 — シナ・チベット語族

言語研究法 ('19)

第14回 類型論（世界の言語） 14-2

18



19

日本語の起源？

- 韓国・朝鮮語との関係
 - 文法体系の高い類似性
 - 基礎語彙が全然違う
 - 偶然を超える関係が推定されるが決定打不足 (比較言語学的には特に)
- 高句麗語、扶余語との関連性
 - 古代朝鮮の言語と日本語との間で単語の対応関係？

20

日本語の起源？

- 「(ウラル・) アルタイ語族」？
 - トルコ語やモンゴル語を含んだ「アルタイ諸語」という言い方
 - ← 同系とまではわからないときに「諸語」
 - 「膠着語」的特徴、「SOV」語順、母音調和などの類似点
 - 基礎語彙の共通性乏しい
 - そもそも「アルタイ語族」に無理がある
- ドラヴィダ語同系説
 - タミル語と文法構造や語彙の類似点があることから提唱された
 - 比較言語学の方法上の問題も多く撤回

言語研究法 ('19)

第14回 類型論（世界の言語） 14-3

21

言語のタイプ分け

■言語類型論

形態的類型論

19世紀にシュライヒャーが提唱
文をつくる際の形態素の活用法に着目



- ・文法機能をもった形態素を連ねていく方式
- ・文法機能がパッケージになった形態素を用いる方式
- ・特別な形態素を用いず語順などで表す方式

5

22

孤立語

■孤立語とは？

語は一つ一つが実質的概念を表し、語形変化しない
語同士の関係を示す形態素（接辞など）がない
文法的関係は語順で示するのが基本

<例> 中国語

“我想吃飯。”（私はご飯を食べたい）

我＝‘私’，想＝‘したい’，吃＝‘食べる’，飯＝‘ご飯’

←主語、目的語、動詞、助動詞の働きは語順で示される

10

15

23

膠着語

■膠着語とは？

単語同士の文法的な関係を表すのに、それぞれに
固有の機能をもった形態素を直線的に連ねて表す

<例> 日本語

「彼は酒をむりやり飲まされたそうです。」

格関係、使役 -as-、受身 -are-、過去、(伝聞)、丁寧、
すべてが固有の形態素によって表される

20

25

24

屈折語（融合語）

■屈折語（融合語）とは？

屈折＝語形変化（語形変化なら膠着語も活用する）
膠着語との違いは形と機能が分割できないこと

<例> フランス語

“Il l'aimait.”（彼は彼女を愛した）

aimait は動詞 aimer の直説法半過去3人称単数形

-ait の部分に、直説法+半過去+3人称+単数形が融合

30

35

第 14 回 類型論（世界の言語） 14-3

25

語順の類型論

■統語的（語順の）類型論

グリーンバーグが基礎づけ

- ①基本語順（主語 S、目的語 O、動詞 V）
- ②前置詞？後置詞？
- ③形容詞と名詞
- ④疑問詞
- ⑤否定と動詞 /etc.etc.

5

26

語順の類型論 諸言語比較

	日本語	中国語	タイ語	英語
①基本語順	SOV	SVO	SVO	SVO
②前/後置詞	後置詞	前置詞	前置詞	前置詞
③形容詞/名詞	形+名	形+名	名+形	形+名
④疑問詞	平叙文	平叙文	平叙文	文頭
⑤否定と動詞	V後	V前	V前	V後

(角田太作『世界の言語と日本語』などにより作成)

15

20

25

30

35